

Ⅱ 目標達成に向けた施策

1 魅力発信と賑わいのあるまちづくり

栄区の魅力をPRするため、豊かな自然をはじめとした栄の魅力資源を発掘・活用し、区民の皆さまや栄区の企業の皆様などとともに「これからの栄区」について考え、環境にも配慮した賑わいのあるまちづくりを進めます。

2 安全・安心なまちづくり(セーフコミュニティの推進)

データに基づき、地域の皆様と行う予防活動「セーフコミュニティ」の再認証に向け、取組とPRの強化により活動の輪を一層広げます。

また、災害から身を守るための万全な備えを目指し、継続的な防災対策を推進します。

3 福祉保健・健康づくりの推進

子ども、高齢者、障害者、生活困窮者等の健康や生活問題等の相談からサービス提供までを 総合的に提供できるよう、保健と福祉の連携をより進め、区民の健康や暮らしの安全・安心を守る 取組を進めます。

Ⅲ 目標達成に向けた組織運営

1 <u>正確・迅速な事務処理と</u> 親切・丁寧な応対

各制度の正確な理解と、正確かつ迅速な事務処理に努めます。また、高齢者や障害者など、誰もが安心して来庁できるような応対マナーを習得するとともに、「栄区役所スマイルガイド」に沿った、お客様の心に寄り添う応対を実現します。

2 職場の垣根を越えた 明るく前向きな風土づくり

情報共有や連携を通じて、職員 同士の「顔の見える関係」を築き、 タテ・ヨコの協力体制を深めます。 また、一人ひとりが「チーム栄」 の一員として、ワークスタイルの 改革を進め、さまざまな課題に 前向きに取り組みます。

3 <u>区の魅力を実感し</u> 地域貢献できる人材育成

地域と積極的に関わり、「栄」を 知ることで、現場対応力やコーディ ネート力を身につけます。

また、感動と共感を大切に、 地域のために自ら考え、常に感謝 の気持ちを持って行動できる職員 を育てます。

主な事業・取組(1/4)

1 魅力発信と賑わいのあるまちづくり

栄のブランドづくり

栄区が保有する魅力資源を活用し、地域イメージを高めるため、多様な方々と連携し、 「栄のブランド」づくりを進めます。

- ・魅力の発信拠点としての(旧)さんぽみち(たっちーらんど地下1階)の活用
- ・さかえ区民活動センター「ぷらっと栄」の機能強化
- 広報物の多言語化

さかえ環境まちづくり

誰もがいきいきと暮らしやすく、賑わいのある栄区を目指し、まちづくりを進めます。

- 本郷台駅前の南小菅ケ谷住宅跡地の民間売却を契機とした再開発事業
- 「上郷東地区まちづくり構想」に基づく郊外部のまちづくりの推進
- 都市計画マスタープラン・栄区プランの改定
- ・横浜環状南線の整備効果を地域活性化につなげるための栄化・JCT(仮称)周辺のまちづくり検討

賑わいのあるまちづくり

栄区への愛着を深め、まちの活性化を促すためのイベントや商店街振興を行います。

- •「栄区民まつり」「さかえオープンカフェ」「SAKAEヤングフェスティバル」 等の実施
- 他都市との交流事業(長野県栄村、青森県南部町、山形県高畠町)
- 多様な地域の団体による、商店街の活性化策検討会の実施

花いっぱい魅力づくり

全国都市緑化よこはまフェアを盛り上げ、「花や緑を愛し、育む人の輪」を広げます。

- オープンガーデンツアー、園芸・庭づくり講座の実施
- ・ボランティア団体(公園愛護会・水辺愛護会・ハマロードサポーター) の連携強化
- 本郷台駅前公園の再整備



森の魅力づくり

横浜自然観察の森、5つの市民の森をはじめとした身近な緑に親しむ場をつくり、 保全へとつなげます。

- 活動団体と連携した、豊かな森のPRやふれあいの機会の提供
- ・鎌倉市との市境に位置する「天園」の魅力創出

ごみの削減・美化推進

生ごみの削減等により、環境に配慮したまちづくりを進めます。

- 生ごみ処理器「キエーロ」の普及に向けた取組
- 使い切りクッキング教室の開催

主な事業・取組(2/4)

2 安全・安心なまちづくり(セーフコミュニティの推進)

セーフコミュニティの推進

WHO(世界保健機関)が推奨する国際認証「セーフコミュニティ」(平成25年取得) の平成30年度の再認証に向け、取組の強化を図ります。

- ・ 認証機関(セーフコミュニティ認証センター)による事前指導の実施
- 分野別分科会の取組推進

こども安全対策分科会

- ・養育者への啓発
- ・子どもへの注意喚起 (危険予知トレーニングの実施)
- ・地域住民による見守り

高齢者安全対策分科会

- ・元気づくりステーション支援
- ・転倒予防に資する取組推進
- ・住環境の改善の普及啓発
- ・ヒートショック予防の普及啓発

スポーツ安全対策分科会

- 予防講習会の開催
- ウオーキングの推進

災害安全対策分科会

- ・実践的な地域防災拠点訓練の実施
- ・災害時要援護者支援の取組拡大
- ・地域避難所の設置及び訓練実施

交通安全対策分科会

- ・自転車ヘルメット着用啓発
- ・スクールゾーン対策
- · 高齢者交通安全教室

自殺予防対策分科会

- ・啓発活動の展開
- ハートフルサポーターの育成
- ・ハイリスク者への支援強化

児童虐待予防対策分科会

- ・さかえっ子の笑顔ひろげ隊
- · 栄区虐待防止連絡会
- ・こんにちは赤ちゃん訪問
- ・専門家による早期対応

防犯対策分科会

・振り込め詐欺の被害者層への啓発



災害に強いまちづくり

災害時に具体的な行動へつながるよう防災意識を高め、防災力向上を図ります。

≪水害対策≫

- ・田谷地区(大面川第二雨水幹線下水道整備工事)や いたち川流域(いたち川右支川改修工事)などの浸水対策の実施
- ・エフエム戸塚との防災協定に基づく副次的な災害速報広報の確立
- ・地域特性に応じた訓練の実施

≪震災対策≫

- 要援護者も安心して避難生活が送れるような地域防災拠点の取組推進
- 各地域防災拠点の取組共有の場づくり

主な事業・取組(3/4)

3 福祉保健・健康づくりの推進

「さかえ・つながるプラン」(地域福祉保健計画)の推進

区民の皆様や各種団体等と連携し、誰もが身近な地域で安心して暮らしていくことができるよう、計画を推進します。

- 地区別計画の推進
- 「さかえ・つながるフォーラム」の開催

地域包括ケアシステムの推進

高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、栄区らしい地域ケア の実現に取り組みます。

- ・医療・介護・生活支援・介護予防などの取組が一体的に提供される地域を目指す ための、中長期的な区版指針の策定
- 地域で高齢者を見守る取組や、日常生活を地域で支え合う活動を通した地域づくり

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援

安心して子どもを産み育てられるよう、切れ目のない総合的な支援に取り組みます。

- 産後のメンタルヘルスケアの充実
- ・ 次世代を担う子どもたちの育成 (赤ちゃんふれあい体験)
- 関係機関と連携した児童虐待対応
- 発達障害児についての理解を深める取組の充実
- 待機児童ゼロの維持
- ・ 学齢期の子どもの見守り
- 教育・保育施設への研修・連携の推進(保育資源ネットワーク構築事業)



健康づくりの推進

- 一人ひとりが自分にあった方法で健康づくりを継続的に行えるよう取り組みます。
 - 成人期の生活習慣改善のためのウオーキングの推進
 - スポーツを通じた健康づくり
 - 学校と連携した食育の推進

セーフティネットの強化

生活に困窮している人が安定した生活を送ることができるよう、支援を行います。

- 生活困窮者の早期発見・早期支援のためのネットワークづくり
- アドバイスブックを活用した相談体制の充実
- ・生活・学習支援・自炊力支援・仕事再チャレンジ応援の事業による自立の強化

主な事業・取組(4/4)

目標達成に向けた組織運営のための具体的な取組

正確・迅速な 事務処理と 親切・丁寧な 応対

- 自らの業務に自信を持ち、納得して取り組めるよう、 法令や制度等を正確に身に着けます。
- お客様をお迎えする窓口の整理整頓や、 分かりやすい表示の工夫に努めます。
- 応対マナーの習得により、高齢者や障害者など、 誰もが安心して来庁できる区役所を実現します。



職場の垣根を 越えた 明るく前向きな 風土づくり

- 係や課を越えた情報共有を行うことでお互いを知り、 助け合える職場風土を醸成します。
- 前例にとらわれることなく、重複する業務を整理し、 優先度をつけて取り組みます。
- ワークスタイルの改革(ペーパーレス・会議効率化)を 推進し、意欲と能力を発揮できる環境づくりを進めます。

区の魅力を実感し 地域貢献できる 人材育成

- 「栄区」で働く職員として、「栄区」に興味・関心を持ち、地域の催し等に参加します。
- 地域と顔の見える関係を築き、 課題に気づく力、現場対応力を習得します。
- 感動と共感の心を持ち、 地域貢献できる職員を育成します。